



2024年11月14日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ
代 表 取 締 役 社 長 中 村 孝 也
(東証グロース市場・コード3807)
問 い 合 わ せ 先 :
取 締 役 管 理 本 部 長 岡 本 純 子
電 話 番 号 03 (5774) 2440 (代表)

特別損失の計上及び2024年12月期通期個別業績予想の修正に関する お知らせ

当社は、2024年12月期第3四半期会計期間において、特別損失として投資有価証券の評価損を計上する見込みとなりました。

また、2024年2月19日「2023年12月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において公表いたしました2024年12月期の個別業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)を修正することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

当社が保有する投資有価証券について、減損処理を実施し、2024年12月期第3四半期会計期間において、投資有価証券評価損361百万円を特別損失として計上する予定です。

2. 個別業績予想について

2024年12月期個別業績予想数値(2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,177	百万円 49	百万円 49	百万円 46	円 銭 1.00
今回修正予想(B)	857	△332	△331	△503	△10.98
増減額(B-A)	△320	△382	△381	△549	—
増減率(%)	△27.17	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2023年12月期)	961	△622	△537	△1,591	△34.72

(注) 中間会計期間より、表示方法の変更を行ったため、前期実績(2023年12月期)については、当該表示方法の変更を反映した組替後の数値を記載しております。

3. 修正の理由

2024年12月期通期個別業績予想修正の主な要因は、今期見込んでおりました投資コンテンツ

の販売促進等の売上高増加施策の未達及び上記1の特別損失の計上によるものです。

当社は今期、フィスココイン（FSCC）の経済圏を拡大することで、主力事業である情報サービス事業における投資ツール及びコンテンツの販売促進、保有暗号資産による収益獲得を見込み、売上の拡大と大幅な利益改善を図ることを業績予想に組み込んでおりました。

しかし、想定していたFSCC経済圏の拡大が難航したことや、保有する暗号資産の市場価格の低迷に伴う保有暗号資産の評価減が発生し、売上高は情報サービス事業において約260百万円、暗号資産・ブロックチェーン事業において約60百万円、当初想定を下回り、857百万円となる見込みであります。

上記の売上高の未達を見込んだことで、利益面では営業損失332百万円、経常損失331百万円が見込まれることとなりました。

また、当期純利益については、上記1の通り投資有価証券について減損処理を行い、2024年5月16日付「繰延税金負債の一部取崩しに関するお知らせ」で開示した通り、法人税等調整額△160百万円を加味した当期純損失503百万円を見込んでおります。

業績改善に向けては、下半期からコストの大幅な削減を推進し、年換算で約90百万円のコスト削減を完了しています。また、上場企業のIRニーズの増大で売上増加が見込めるIRコンサルティングサービス分野へ経営資源の再配分を実施いたしました。特にスポンサードリサーチレポートであるフィスコ企業調査レポートへの経営資源の再配分が奏功し、下半期からは年間の100件程度のペースで顧客企業の獲得が進んでおります。結果、2024年12月期第3四半期会計期間において、情報サービス事業はもちろん、暗号資産・ブロックチェーン事業を除く全社でも黒字化を達成しております。

来期に向けては、コスト削減が通期で寄与すること、引き続きIRコンサルティングサービス分野へ注力することで、早期の業績改善を目指します。なお、保有する暗号資産は、今期の評価損の結果、2024年9月時点で21百万円となり、来期の通期個別業績に大きな影響を与えないことが予想されます。

以 上